

まちづくりネットワーク

磐田市協働のまちづくり推進条例施行

一年の振り返り

磐田市協働のまちづくり推進条例（以下条例）が、平成21年4月より施行され、行政担当係と市民の代表からこの1年を振り返っていただきました。

協働のまちづくりの取り組み 自治振興課市民協働推進係

磐田市では、これまでも市民活動センターの設置、まちづくりサポーター制度、まち美化パートナー制度などを実施してきました。

21年度は、自治振興課内に市民協働推進係を新設し、モデルとなる事業を通して体感できる協働のまちづくり提案事業や協働シンポジウム、協働のまちづくり推進委員会などを開催しました。また、職員研修や職員向け協働ハンドブックを作成し、市民活動の支援とともに市役所職員の意識向上を目指して、さまざまな取り組みをしてきました。



これからの協働は？

協働と固く考えずに、思いがあつたら一歩でも踏み出し、まずは「自分にできることをする」それが大切だと感じました。そして、周りのみんなの協力が得られれば、協働へと繋がるのだと考えます。



みんなの学校 in 磐田
(東海福祉専門学校)

行動してみることで、みんなの優しい気持ちや、笑顔が増えたら磐田市がいいまちになると思います。行政として、そんな思いをこれからも支援してまいります。

市民の目から

NPO法人マンプロジェクト
理事長 芦川和美

私たちは、「海・砂浜をまもる」をテーマ、目標とし、サーフィンの普及と海岸清掃を主な活動としています。

これまで、条例検討委員会の一員として推進条例の策定に携わりました。その条例が施行されることに、大きな期待と関心を持っていましたが、「制定」以上に「施行後」が大切だという想いを改めて感じる一年でした。

NPO(市民活動団体)や協働への理解

今まで、NPOやボランティアという福祉系の活動と誤解されていたように思います。それが、さまざまな機会を通して、市民のまちづくり活動であると少しずつ理解されてきました。また、事業を進めていく中で、団体間のネットワークが持てるようになり、市民活動の広がりを感じます。それでも協働としてとらえた場合、まだこれからだと思

行政に期待する点

います。協働には、関わるそれぞれの組織が「やりたい」という自発的な気持ちと、「やっつて良かった」という充足感が大切です。しかし、協働だから手伝って当たり前というような、押し付けをする組織が見受けられます。何のためか、協働なのか、さらに本質的な理解が必要だと思

私たちはNPOが行政に期待することは、もともと現場に足を運んで欲しい！ということ。現場を見て、知って、はじめて実感できるものがあるのです。「私たちにできること」を持ち寄ったら、いいまちができていきます。市民も市民活動団体も事業者も、そして行政も、まず一歩踏み出して、みんなと一緒に汗をかきましょう。



豊浜海岸のビーチクリーン

元気な野菜コーナー

青空市

磐田駅から国分寺までのエリアで、青空市を開き、元気な磐田を取り戻そう。

さつまいも栽培による活気あふれるまちづくり

遊休農

地の有効活用でサツマイモの栽培をしよう。

みんなで収穫を楽しもう。

からだ

からだが好きスープ

体に良いものを食べたとき、体は喜びます。野菜スープでみんな元気になるしましょう。

人々の絆



いわた赤い糸プロジェクト

婚活は、単なるブームではなく、現代が抱えるさまざまな問題を浮き彫りにする鏡です。一緒に種をまき、素敵な出会いをエスコートしませんか。



さつまいもへの夢を語る

暮らしの足を考える

プロジェクト

明日は我が身。車に乗れなくなった時、どうしますか。その問題解決の一助にとタクシー相乗り・幹旋システムを考えました。

まちづくりサポーター

市まちづくりサポーター制度のよりよい活動をめざして、何ができるでしょうか。市民の皆さんと一緒に考えます。

第二部

ネットワーキング体験交流会 1階食堂

昼食として、体にやさ

い地産地

消のスー

プ、おに

ぎり、こ

だわりの

コーヒ、

ケーキな

どを提供

しました。その後、

・みんなで踊ろう！

・シルバーエクササイズ

・足うらマッサージ

・健康吹き矢

などを体験し、参加者の

だれもが楽しいひととき



談笑する参加者



♪磐田は～よいところ♪

はあ～い、右・左・トント

シルバーエクササイズ

アンケートより

〈成果発表会〉

・若者に視点を当てた活動内容や資金調達の方法は、画期的だと思えます。

・すべての活動について、すばらしいと思えました。

〈体験交流会〉

・足うらマッサージは、体調不良のことも相談できよかったです。

・シルバーエクササイズは簡単な動きで、楽しかったです。

など、たくさん感想が寄せられました。

想いを形にしていく第一歩のイメージ作りができたのではないのでしょうか。

いわた市民活動センターのつぼ (NoPpO) からのお知らせ

お知らせ

磐田 NPO 活動推進協議会は、平成22年4月より NPO 法人化し、「特定非営利活動法人 磐田まちづくりネットワーク」として、再出発します。

募集します!!

ロゴマーク募集

いわた市民活動センター “のつぼ (NoPpO)” のロゴマークを募集します。
締め切り：4月末日

センター通信編集委員募集

この紙面の編集委員を募集します。編集委員会は、昼間行います。

ホームページブログ情報特派員募集 (随時)

各団体の活動取材です。



お宝見聞隊メンバー募集

今年度は、現地調査に出かけます。その企画・運営などを行います。

NPO・市民活動・“のつぼ”なんでも相談ボランティアのための

随時受付、事前にご連絡ください。
いわた市民活動センター NPO 法人設立アドバイザーが対応します。

お問い合わせ先

いわた市民活動センター “のつぼ”
磐田市森岡 150 豊田支所内
TEL&FAX 0538-36-1890
E-mail iwata-npo@za.tnc.ne.jp

あなたの想いをとことん応援!!

市民カスキルアップ講座成果発表会＆ネットワーキング交流会

平成21年度 協働のまちづくり事業（市委託）

2月28日（日）

豊田支所2階大会議室

参加者延べ150名

7月末よりスタートした6回講座の中で学び、次への活動として組み立ててきたものを発表しました。今年度の進め方は、講座の日だけ学習するのではなく、自主的に次回までに調べたり、仲間探しをしたり、話し合ったりして、想いをポスターに表してきたことです。事前に豊田支所内で展示してきたことは、来庁者の関心を呼ぶことができました。

第一部 成果発表会 2階大会議室



渥美敏之 副市長

渥美敏之副市長より挨拶をいただきました。



豊田支所
市民ホール
での展示



子さんがアロセスコンスカルタントから、今回の発表は、アイデアの種であり、今年度は特に、参加者相互の輪が広がっていき、ネットワークが



パネルに囲まれた満席の会場

環境応援回

生まれれたことが最大の収穫物であることを伝えられました。さらに、前日の準備から当日終了後の片付けまで、講座参加者全員で取り組んだことも大きな価値がありました。それぞれのグループが取り組んできた内容を紹介します。

リサイクル千手堂「千の花」

花壇整備やリサイクル活動、サロン活動、夏祭りなど子どもからお年寄りを巻き込んだ地域ぐるみの活動を展開しています。



みんなで力を合わせてリサイクル

市民カ スキルアップ講座の経過

第1回	7.25	まず、企画書を書いてみる	研究テーマ分析
第2回	8.29	理想を思い描いてみる (3年後をイメージして)	研究テーマ分析
第3回	9.26	物語（サクセスストーリー）にする	事例研究
第4回	10.24	物語のはじまりを考える	事例研究
第5回	11.28	自分ができること、自分だけではできないこと、自分が関与できないことなどを明確にする	事業計画 (企画書づくり)
第6回	12.19	事業プランを伝えるポスターを作る	広報



唄って踊って元気

元気にキャラバン隊
シルバーエクササイズ

社山明るい地域をつくる会
人と自然と歴史を大切に、ふるさと杜山の里山公園化をめざして活動しています。

磐田化学工業株式会社
環境への配慮を最重要課題として、見せることができる工場、祝川の清掃活動をはじめ地域とともに歩む企業をめざします。

でリフレッッシュ。「遊びリテーション」で生き生き元気に。どこへでも出かけていきます。

歌って踊って美舞専花
磐田を唄と踊りで元気にしたい。仲間ができて、輪ができて、笑顔が広がる、そんな磐田になっていくことを願っています。

足から元気に（足もみ）
自分で自分の足をもむと、血液循環が良くなり、体温、免疫力、自然治癒力がアップし、未病対策に役立ちます。

提案事業とは？

協働のモデル的な事業の提案を募集し、その中から地域課題の解決にふさわしいものを審査し、提案した団体と市が協働委託契約により、事業を実施していく制度です。



映画「1/4の奇跡」入江監督の講演 (しあわせクラブ)

平成21年度の提案事業は？

- ◆ いわしんバモス日本語！南御厨実行委員会
- ◆ NPO法人マリンプロジェクト
- ◆ CAP倶楽部
- ◆ 東海福祉専門学校

◆ しあわせクラブ
◆ NPO法人いきいき・いわた

の6団体と協働で実施されました。



脳いきいき講座 (NPO法人 いきいき・いわた)

お知らせ
報告会&説明会

これらの活動の成果報告と平成22年度の説明会を開催します。

「わたしにできることをやりたい!」、「社会的課題解決のアイデアがある!」という5人以上の仲間がいる団体の方、奮ってご参加ください。
平成22年度に事業提案を予定されている団体は、必ずご出席ください。

【とき】

平成22年4月29日
(祝・木) 午前10時
【ところ】

磐田市総合健康福祉会館(イプラザ)
2Fふれあい交流室

参加お待ちしております!!



はじめての説明会参加者は真剣



緊張する～審査会

【次号より】

「ジュビロ磐田」と紙面共有します

いわた市民活動センター通信「まちづくりネットワーク」は、次号より、第1～3面を従来どおりいわた市民活動センターが紙面作成しますが、第4面はジュビロ磐田が「(仮)ジュビロ関連ニュース」として紙面作成いたします。

NPO(市民活動)の推進とスポーツ振興とのコラボレーションや限られた予算の有効活用を目的に実施します。こちらも注目ください。

前半戦
2010リーグディビジョン1 ホームゲーム

節	開催日時	対戦チーム
1	3/6(土)13:00～	ベガルタ仙台
4	3/27(土)16:00～	京都サンガF.C
5	4/4(日)14:00～	ガンバ大阪
7	4/17(土)19:00～	大宮アルディージャ
10	5/5(水祝)16:00～	サンフレッチェ広島
12	5/16(日)14:00～	川崎フロンターレ
14	7/24(土)18:00～	鹿島アントラーズ
16	7/31(土)19:00～	セレッソ大阪
19	8/18(水)19:00～	ヴィッセル神戸
20	8/22(日)18:00～	清水エスパルス

予選リーグ/Bグループ
2010リーグディビジョン1 ホームゲーム

節	開催日時	対戦チーム
2	4/14(水)19:00～	横浜F.マリノス
5	5/29(土)14:00～	ヴィッセル神戸
7	6/9(水)19:00～	モンテディオ山形

編集後記

本誌は、年3回発行し創刊以来9年になります。センターも豊田支所に移転し、「いわた市民活動センター」と改称されました。今まで管理運営をしてきた磐田NPO活動推進協議会は、発展的解散をし、新年度からNPO法人「磐田まちづくりネットワーク」として活動を開始しました。新法人の名称は、本誌のタイトルから名づけられました。素人の集まりであった編集会議でしたが、まちづくりサポーターを中心に毎号夜の編集会議を重ね、一言一句読みあわせて作ってきました。編集体制も事務局主体へと変わっていきます。

(編集長 村上)

- いわた市民活動センター通信 第27号 平成22年4月1日発行
- 編集・発行／磐田NPO活動推進協議会
〒438-0832 磐田市森岡150 磐田市豊田支所内
TEL・FAX (0538) 36-1890
E-mail:iwata-npo@za.tnc.ne.jp
- 監修／磐田市総務部自治振興課市民協働推進係
〒438-8650 磐田市国府台3-1
TEL(0538) 37-4710
印刷所／中央印刷有限会社